

平成30年度 楠見東小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

別紙1ー2

校長名 棚田修司

作成日 平成30年 7月 13日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 学力を定着させて欲しい
- 明るく楽しい学校にして欲しい
- 相手の気持ちが分かる子に育って欲しい
- 地域に誇りを持って欲しい

【学 校 教 育 目 標】

正しい人権意識を持ち、豊かな知性と情操を身につけ、健康で自主性に富み、 みんなと協力して力強く生きぬく子を育てる。

【めざす児童（生徒）像】

- 健康で明るく活動する子
- 思いやりのある子
- ねばり強くやりとげると
- 自分で考え、工夫する子

前年度の学校評価

- 授業改善に積極的に取り組んでいる
- 学校だよりや様々な行事を通じて学校の様子が保護者や地域等によくわかるようになってきた
- 地域との連携を更に推進していただきたい

児童（生徒）の実態

- 元気よく学習や活動ができる
- 集会等で歌や発表が上手にできたり聞くことができる
- さらに最後までねばり強く取り組めるようにならなければいけない
- 家庭学習をしっかりと取り組む必要がある

重点目標

確かな学力の向上

- ◎国語科を研究の窓口とし、コミュニケーション能力の育成に努める。
- 課題に意欲的に取り組み、自ら学び考えていこうとする力を育てる。

豊かな心の育成

- ◎相手の気持ちを理解でき、思いやりのある心を持てるようにする。
- 正しいと思うことに進んで取り組み、最後まで粘り強くやり抜く力を育てる。

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 生命・安全の確保と守る力の習得

地域とともにある学校

- ◎学校からの情報発信を工夫し、連携が深められるようにする。
- ◎コミュニティスクールとして地域や保護者の願いを学校運営に積極的に取り入れる。

具体的な取組

- 「東タイム」を利用し、基礎学力向上に向けた継続的な取り組みをおこなう。
- 「チャレンジタイム」を実施して、授業内容の定着に努める。
- 授業力向上のため、校内研究授業を充実させるとともに、県の「きのくに学力定着フォローアップ事業」を活用し、学力向上のための授業改善を進める。
- 「家庭学習の手引き」を配布し、保護者の協力を得ながら家庭学習の充実を図る。

- 挨拶や返事、そして掃除など、学校生活の基本を身につけ、基本的生活習慣の定着を推進する。
- 様々な体験活動を実施し、豊かな心を養う場を積極的に設ける。
- 「子育て支援ネットワーク楠見」や「介護老人施設エスポワール」の方々と交流することにより、児童の豊かな心の醸成を図る。
- 様々な集会活動を通じ、異年齢交流を進め、児童の豊かな心を養う。

- 「早寝、早起き、朝ごはん」の推進を行う。
- 生活調べを実施して基本的生活習慣の定着を図る。
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に実施して安全への学習を深める。

- 地域への学校だよりの発行を通じ、積極的な情報発信に務める。また、各教科や総合的な学習の時間、子どもセンター事業等に積極的に学校外の人材を活用する。
- 民生児童委員との懇談会をもち、情報交換を図り生活指導の充実を図る。
- 地域と共催できる行事を積極的に活用する。また、教職員も積極的に参加できる場を設け、開かれた学校となるように努める。

指標

- 全国学テ(前年度を上回る)
- 県学習到達度調査(前年度を上回る)
- 授業アンケートの活用

- 学校アンケート(前年度を上回る)
- いじめアンケートの活用

- スポーツテスト(県平均を上回る)
- 生活調べ(朝ごはん、排便90%以上)

- 学校アンケート(前年度を上回る)
- 学校運営委員会まとめ活用

◎：特に重点的に取り組むこと